

## 【進め方のポイント&研修効果】

### 1. 自ら気づき、改善ポイントを把握する

各種の活力ワークやフィードバックを通して、参加者はあるべき姿と自己の現状とのギャップに気づきを深めます。自分の改善ポイントを掴んでいきます。

### 2. 一人ひとりの知恵を活かす

グループ討議では一人ひとりが主役となるディスカッションによって、数多くの知恵が生まれ問題解決のヒントを吸収できます。

### 3. 「やってみる」ことで体得する

コミュニケーションの取り方や後輩をほめる、叱るなど、学んだことをロールプレイングで「やってみる」ことによって、具体的な方法を身体で習得します。

### 4. 寄り添う講師のインストラクション

経験豊富な講師が参加者に寄り添い、双方向のコミュニケーションをとりながら、巻き込んで意欲を引き出します。

### 5. 視野の拡大と一人ひとりの成長

異業種のリーダー同士、宿泊も生かした深い交流から、発想の転換やまなび合いへと繋がり、互いの刺激と友情は成長の礎になります。

## 【開催日程】

2022年

6月16日～17日 (木・金)

9月15日～16日 (木・金)

10月13日～14日 (木・金)

## 【開催要項】

・会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

・参加対象 OJTリーダー、中堅ビジネスリーダー役

・参加費 28,000円(資料・宿泊・食事代含む)+消費税  
(当協議会会員会社は25,000円+消費税)

・申込期日 各開催日1週間前まで

・申込方法 申込書に必要事項をご記入の上FAX又は、メール、郵送等でお送り下さい。折返し「参加要項」並びにご請求書をお送り致します。

#### ・納入方法

銀行振込(一般社団法人 日本経済青年協議会 当座預金)  
みずほ銀行九段支店 22078  
三井住友銀行神田支店 1015231  
三菱東京UFJ銀行神保町支店 9012311  
りそな銀行九段支店 408583

※納入された受講料は主催者の責任に属する事故のほかは、お返し致しません。

【セミナー開催時における新型コロナウイルスに対する対応について】  
新型コロナウイルス感染拡大防止策を可能な限り行い、皆様に安心して受講頂けるように努めてまいります。対応については、ホームページをご覧ください。 URL <https://jec-j.or.jp/>

#### ◆お問い合わせ・申込書送付先

一般社団法人 日本経済青年協議会  
「産業ジュニア・リーダー養成コース」係  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
電話：03-3469-2381 FAX：03-3481-5726  
E-mail：[office@jec-j.or.jp](mailto:office@jec-j.or.jp)

# 産業ジュニア リーダー養成コース

中堅社員には、管理職とメンバー(後輩)の間の潤滑として問題や課題の解決にとりくみ、組織の業績達成や成長に貢献することが求められています。

異業種のリーダー同士の深い交流から、発想の転換や知恵が生まれ、一人ひとりの力になり、同時に周囲を動かしてリーダーシップが発揮出来る社員を育てます。

## 【本研修4つのねらい】

1. 中堅社員に求められる役割を理解・確認する
2. 組織の活力を高めるため、上司を補佐、後輩を指導・支援する方法を習得する
3. 仕事に精通する業務推進者として、問題解決の考え方とスキルを習得する
4. 中核者として、人を動かすリーダーシップとコミュニケーション能力を身に付ける

主催 一般社団法人 日本経済青年協議会

## 産業ジュニア・リーダー養成コース(1泊2日)日程表

1 日目		2 日目	
午前	午前 10時開講 (9時30分受付開始) <b>1. 中堅社員に求められる役割</b> ・主要な3つの役割(問題発見と課題解決、上司の補佐、後輩指導) ・管理職とメンバー(後輩)の間の潤滑油になり、自らの役割を創造する	午前	午前 8時30分 ※前夜グループ演習の発表及び全体討議、コメント ～問題解決の実践手法を掘り下げて再確認する～ <b>4. 人を動かすリーダーシップを身に付ける</b> ・リーダーシップとは2つの機能 ・影響力のポイントは適切な行動 ・自分の強みを磨く(影響力6つの要因) (うまく行った事例、うまく行かなかった事例から学ぶこと)
	午後		午後
午後	<b>2. コミュニケーションスキルを習得する</b> ～対話力と傾聴力を磨く～ ・グループコミュニケーション ・積極的傾聴の実習 ・人の特性(ものの見方・考え方) ・真実と事実 錯覚テスト	午後	<b>5. 後輩を指導・支援する</b> ・後輩指導の考え方とメリット ・指導の進め方・3つのステップ ・仕事の教え方・5つの手順 ・ほめ方、叱り方のポイント (後輩をどれだけ知っているか) (ロールプレイング ケースを読み対応を考える) 17:00 解散
	夜間		夜間
<b>3. 現場の問題に取り組み、課題を解決する</b> ・問題解決の重要性、問題とは ・自責の姿勢 ・問題発見と原因の究明(なぜ5回) ・課題設定と行動計画(アクションプラン) 実例研究:職場の実際の問題を取り上げて解決する演習			

最近グループ討議で採り上げられたテーマ	参加者の声
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション不足による情報・伝達の不具合への対応</li> <li>・雇用形態が多様化し、非正規社員のウエイトが増え、入れ替わりが激しい</li> <li>・職場環境が低下している(人手不足で常に忙しい。残業時間が多い。)</li> <li>・各部署での情報の共有化が図れていない</li> <li>・個人、部署間での仕事量の格差・業務量の偏りが見られる</li> <li>・作業効率の改善方法があるにもかかわらず、会社側で変化を好まない</li> <li>・技術継承、熟知経験者の退職・不在による職場での活力低下問題</li> <li>・女性活躍推進と男性社員のモラル問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで後輩指導について具体的に学ぶ機会がなかったため、非常に新鮮でした。特に後輩への期待を添える注意のしかたが有効なので、日頃から意識しようと思います。</li> <li>・自分が抱える問題について、考える機会になりました。原因を掘り下げていくことで、実は自分のちょっとした意識や行動で解決する可能性があることがわかりました。</li> <li>・会社中での自分の立ち位置やすべき振る舞いがかめたと感じます。上司と後輩の橋渡しになるために、周りの人とのコミュニケーションを自分からとっていくことが大切と感じました。</li> <li>・上司が私たち中堅世代に求めていることが明確になり、自分の立場を再確認できたように思います。自分が上司にどういった役割を求められているか、毎日関心をもって働きたいと思います。</li> </ul>

### 福田 徹(クリエイトマネジメント研究所 代表)

新日本製鐵(現日本製鉄)で、労務、総務、物流管理、新事業開発等の管理職・リーダーを歴任後、人事教育コンサルタントとして独立。管理・監督職、中堅・若手社員を対象に、職場のマネジメント、問題解決、部下育成、コーチング、キャリア開発等の分野で活力あふれる実践指導を展開してきた。アメリカ、東アジア方面洋上研修講師経験16回、本年は団長もつとめる。著書は、「新しい自分のつくり方」、「伸びる男は上司の動かし方がうまい」ほか多数。

### 島田 義也(有限会社 島田教育総合研究所 代表取締役)

(株)ユーハイム、管理者養成学校講師、(株)KHS 研修センター常務取締役を経て、平成6年より独立して、(有)島田教育総合研究所を創設。管理者研修・中堅社員研修・営業社員研修・各団体主催の講演、セミナーなど研修講師として活動中。[著書・論文]著書に「経費節減578のアクション」(中経出版)、専門誌連載論文に「教育スタッフのための研修技法とその注意点」(月刊「能力開発」)、「効果的な管理者研修の企画と運営」(月刊「企業と人材」)など多数。

## 産業ジュニア・リーダー養成コース 受講申込書

このままファクスまたはPDFにてお送り下さい。

**FAX 03-3481-5726**  
**office@jec-j.or.jp**

貴社名	
ご住所 (〒 )	(TEL )
申込み 責任者	

所属・役職	(フリガナ) 参加者氏名	年齢	性別	開催 月

ご記入いただいた情報は、当協議会が本研修の運営・管理に利用するほか、各種セミナー案内提供のためにのみ利用することがあります。ご不明な点は、ご連絡ください。